

会 議 録

会 議 名	令和元年度（2019年度）第6回八王子市社会福祉審議会 児童福祉専門分科会	
日 時	令和2年（2020年）2月10日（月）午後1時30分～3時35分	
場 所	八王子市役所 本庁舎 805会議室	
出 席 者 氏 名	委 員	井上仁会長、大宝院清孝副会長、荒井容子委員、石井淳委員、石田健太郎委員、岡崎理香委員、加藤悟委員、佐戸博委員、澤井菊男委員、菅野周平委員、鈴木紀幸委員、田上美穂委員、町田利恵委員、松井優佳委員、松野美樹委員、三浦誠委員、三入重夫委員、森直美委員、山本由佳理委員、渡辺恭秀委員（会長、副会長、以下五十音順）
	関連所管	仲井課長補佐（大横保健福祉センター館長代理）
	事 務 局	小俣子ども家庭部長、澤田子どものしあわせ課長、中山子ども・若者支援担当課長、小池児童青少年課長、東郷子ども家庭支援センター館長、福田子育て支援課長、吉森保育幼稚園課長、小野主査、吉岡主査
欠 席 者 氏 名	内野彰裕委員、大島達也委員、眞保智子委員、三入重夫委員	
議 題	議事 1 子ども・若者育成支援計画の策定に係る答申について 2 子ども・若者育成支援計画のパブリックコメント実施結果について 3 子ども・若者育成支援計画の策定状況について 4 子ども・若者育成支援計画の表紙デザイン原案について	
公開・非公開の別	公開	
非 公 開 理 由		
傍 聴 人 の 数	なし	
配 付 資 料 名	別紙のとおり	
会 議 の 内 容	別紙のとおり	
会 議 録 署 名 人	令和2年（2020年）4月3日 田上 美穂	

（別紙）配付資料

- 子ども・若者育成支援計画（素案）のパブリックコメント実施結果について
- 提出意見一覧
- 子ども・若者育成支援計画の表紙デザイン原案について

(会議の内容)

【澤田子どものしあわせ課長】ただいまより、令和元年度第6回八王子市社会福祉審議会児童福祉専門分科会を開催します。23名中19名が出席していますので、開催要件を満たしております。なお昨年12月の民生委員・児童委員の改選に伴い、八王子市民生委員児童委員協議会から、野中委員に代わりまして澤井委員に参加いただいております。

■八王子市子ども・若者育成支援計画の基本的な考え方について（答申）について

【澤田子どものしあわせ課長】（資料1「八王子市子ども・若者育成支援計画の基本的な考え方について（答申）」について報告）

■パブリックコメントの実施結果について

【事務局】（資料2「子ども・若者育成支援計画（素案）のパブリックコメント実施結果について」について報告）

【井上会長】18人の子どもから意見をもらったのは嬉しいことであり、これから計画内容を実行していくにあたっては良い契機となった。市としても意見を大事にし、説明責任を果たしてほしい。市民意見及び市の考えの公表にあたっては、子どもへの声かけの意味合いも含めると良い。可能ならば若者からの意見についても、件数を把握できると良かった。

【事務局】（資料3「提出意見一覧」について説明）

計画全体に関わる市民意見について

【井上会長】計画の3つの視点に関する市民意見「『育てる・育つが楽しい』は、『育つ・育てるのが楽しい』に変えたほうが子どもの主体性が伝わってくる。」に関して、本計画は理念の一つとして、子ども主体や子どもの権利擁護をしっかりと位置付けている。一方で、計画の対象としては、子どもだけではなく保護者も含んでおり、保護者への支援にもしっかりと取り組んでいく、ということを丁寧に説明してほしい。また、「障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例」との関係に関する意見に関しては、障害児を含むすべての子どもを本計画の対象とし、支援していくことを明記すること。

子どもの権利条例に関する市民意見について

【岡崎委員】子どもの権利条例については、これまで審議会でも検討をしたところであるが、市として条例制定は考えていないのか。「八王子市子どもすこやか宣言」と「子ども権利条例」は別のものと考えているが、市の考えはどうか。

【澤田子どものしあわせ課長】条例制定を否定するものではなく、引き続き検討をしていく必要があると考えている。ただし、現時点では市としての決定をしていないため、「八王子市子どもすこやか宣言」に基づき、子どもの権利についての認知度を高める普及・啓発に取り組み、あわせて、様々な立場の子ども意見を聴き市政に活かしていく

こととしている。

【井上会長】市の考えについては、審議会含めて検討している点も記載してほしい。

居場所に関する市民意見について

【佐戸委員】「学校内に地域の人々の居場所に作り、地域の人々が子どもの話を聴く場所が必要」という意見に対しては、市は、放課後子ども教室や子ども食堂がそのような場にあたるかと考えているようだが、意見者は校内に地域の人がいる場所を求めている。これは市民意見に応えられていないのではないのか。

【井上会長】若者施策も含め、居場所のあり方について検討を始めたところであり、学校などの既存施設の活用も含めて、今後あり方の検討をしていく考えを示してほしい。居場所はこれから計画を進めていくうえでのキーワードとなる。

【佐戸委員】ある中学校では、校長が地域の人々が集える場を設け、体操教室を行っている。そのような事例も参考にしながら広めてほしい。

いじめ対策、相談窓口のに関する市民意見について

【田上委員】いじめ対策については、もう少し丁寧に市の考えを示すべきではないか。

【井上会長】子どもからの意見にある匿名相談の要望に対しても、いじめの総合的対策及び子どもへの対策として、八王子市は「どこでも相談ができる体制をつくる」という方向性であれば、そのことを丁寧に説明するべきである。分科会としては、いじめに関する相談への対応として、①匿名性、②子ども用の相談窓口、③第三者機関（第三者性）の三つを、市が取り組むべき課題として挙げてきた。この三点を含めた、八王子市のいじめ対策のありかた、市が子どもを守るというメッセージを示してほしい。

遊びに関する市民意見について

【井上会長】分科会で「遊び」について論議した中で、八王子の自然を活かし、これを子ども・子育て支援につなげていくことが重要であると話し合ってきた。その方法の一つがプレーパークである。計画ではプレーパークの実施団体を支援するとしているが、分科会では常設型が望ましいと考えており、その点も今後検討しながら進めてほしい。市が、子どもの「遊び」を大切にしているという姿勢も積極的に出していくべきである。

【岡崎委員】プレーパークの実施支援とは、まずは人材育成をし、後々常設のプレーパークを作っていくということなのか。

【澤田子どものしあわせ課長】すぐに常設のプレーパークを作るということは難しいため、まずは団体支援をとおして足掛かりを作っていく。

【井上会長】それでは、今後の発展性を含めた市の考えを示してほしい。公園のあり方については、児童公園と一般公園の違いを説明したうえで、児童公園の充実等、地域で子どもが遊びを充実できる方向性を示すと良い。

【佐戸委員】公園の課題の中に、砂場の問題、犬猫の糞尿の問題があるが、これについてはどのように対応していくのか。

【井上会長】環境整備やボール遊び等も含めた広い視点で、子どもの安全・安心を確保

し、遊びに資する公園のあり方について、市の考えを丁寧を示してほしい。

【佐戸委員】組織を横断した、意見者に寄り添うような市の考えを提示することが必要である。

【井上会長】本計画のコンセプトが伝わるよう、期待する。

障害児支援に関する市民意見について

【井上会長】障害児支援についての市民意見は、初診待ちや行政の対応についての改善要望が含まれていると考えられる。中核市として将来的には児童発達支援センターを持ち、若者支援までつなげていくことを検討してほしい。

【石井委員】「保育園・幼稚園等における発達支援コーディネーター保育士育成」については、様々な園でも要望があり、市の考えを明らかにしてほしい。具体的には、巡回発達相談の充実とは「質」か「量」かを明確にすることと、発達支援コーディネーター育成のための市の取組を明確にすることの二点を求める。

【澤田子どものしあわせ課長】発達支援コーディネーターの研修については、これまで医師会と連携して行っており、今年度は実施できなかったが、今後は幼児教育・保育センターで対応していく。

【井上会長】では市民意見に対しても、そのように応えてほしい。

【石田委員】幼児教育・保育センターについては、実際は「機能」とされているため、担当部署を明らかにし、実体が分かるようにすべきである。プレーパーク実施支援も同様である。

【澤田子どものしあわせ課長】機能ではあるが、市民に分かりやすいようにしていく。

【井上会長】障害児支援については、「幼児教育・保育の中での障害児支援」と「市全体としての障害児支援」の二つの観点があり、どちらも責任部署が分かるようにし、政策の整合性をどのように持たせるか明確にすること。

子どもが参加するボランティア活動に関する市民意見について

【岡崎委員】小・中学生のボランティア参加の促進については、市民活動支援センターでまさに今検討しており、これから市と連携し進めていくところである。分野ごとに、団体と子どもをマッチングすることを考えている。

【井上会長】そのようなしくみができるとうい。

給食に関する市民意見について

【佐戸委員】「給食を選べるようにしてほしい」という意見に対しては、もっと意見者に寄り添った対応ができないか。すでに一部の学校で「セレクト給食」が実施されているのであれば、この取組を広げていくという方向性を示せないか。

【井上会長】給食に関する市民意見では、子どもから多く寄せられた。選べるかどうかだけではなく、楽しく食べるための取組、例えば「地産地消の献立」等も良いのではないか。給食時間については、意見にあるように十分な時間が確保されないのであれば、支援が必要な子どもは特に厳しいだろう。子どもへの食育の観点からも、市独自の取組

を打ち出してほしい。

学童保育に関する市民意見について

【井上会長】学童保育入所の選考基準についての意見については、本計画を踏まえると、①様々な状況の子どもがいる中で、保育の必要度が高い順に入所する、②現状として待機児童がいるので、施設整備と放課後健全育成事業との連携を進め、解消を目指していく、ということになる。なお、放課後健全育成事業については、週5日及び長期休暇中の実施を目指していることも伝えてほしい。

支援が必要な家庭への相談体制に関する市民意見について

【井上会長】本計画においては、相談対応の専門性を高めるため人材育成の取り組むこと、ケースワークを充実していくこととされており、市の考えとして、この点は明記してほしい。

大学・企業と小・中学校との連携に関する市民意見について

【石田委員】意見者は、大学・企業による子ども・子育て支援の実施状況が、学校によって差が出ないようにすべきと指摘しているが、市は「学校に対する情報提供に努める」としており、これではニュアンスが違う。全ての学校で均等に機会を持つことができるよう、対応すべきである。

【井上会長】市は大学と包括協定を結んでいて、それが教育にどう活かされるか伝えてほしい。現在、学校に大学生ボランティアは来ているか。

【渡辺委員】来ている。

【井上会長】学生ボランティアの活躍が市民に見えづらいということがあるので、見えるようにすること。市内の大学等と連携した、居場所づくりや学習支援、放課後子ども教室も検討すると良い。

子育てボランティアに関する市民意見について

【佐戸委員】ファミリー・サポート・センターが紹介されているが、市の周知が不足しており知らない方が多い。町自連の会議を活用する等、地道に周知してほしい。

【東郷子ども家庭支援センター館長】民生委員・児童委員の会議において周知を行っている。

【佐戸委員】それだけでは数が限られるため、町会に力を借りるべきである。

【井上会長】市はボランティアのコーディネート機能を充実させてほしい。

親子が安全・安心して暮らせるまちづくりに関する市民意見について

【井上会長】青少対の取組など、実際に取り組まれていることは、積極的に示すべきである。

配慮が必要な子どもへの支援について

【井上会長】マイファイル事業に関しては、先ほど障害児支援について指摘した点と同様、若者までの切れ目ない支援を行うことを踏まえ、取り組むべきである。また、オレンジボン運動に関しては、学校の関わりも示してほしい。本分科会に小・中学校の先生が参加していることも特色ある点である。

ひとり親支援に関しては、市の考えの中に、中核市独自の取組を含めるべきである。子どもの貧困対策は横断的な取組が必要な施策であり、現場レベルでは連携しているようだが、施策の執行と評価に関しては中心になってコーディネートする部署が必要である。今後、主管課を明確にしたうえで、取組を充実していくことを示してほしい。

若者支援施策に関する市民意見について

【井上会長】若者相談窓口については、市民に分かりやすいよう丁寧に説明してほしい。

【中山子ども・若者支援担当課長】計画策定（若者）部会においては、若者の目線で、敷居が低い相談窓口のあり方について、媒体や立地なども含め具体的に議論してきたので、その内容について丁寧に説明していく。

【井上会長】中学生や高校生が参加しやすいイベントについての意見に対しては、広く、子どもミライ会議やフォーラムを通じた子どもの参画や、児童館のユースリーダーの活動も入れると、計画のコンセプトに沿った内容となる。

■子ども・若者育成支援計画の策定状況及び表紙デザイン原案について

【事務局】（資料4 子ども・若者育成支援計画の表紙デザイン原案について説明）計画書全体のデザイン等について、意見があれば事務局まで連絡をいただきたい。

【井上会長】表紙デザインについては、これまでのプロセスを計画書の中で紹介してほしい。

■事務連絡

【事務局】今年度、認可部会が3月に開催予定であるが、分科会としては本日の開催最後になる。皆様の御協力の御礼申しあげる。

【井上会長】今回は子どもの貧困対策と若者支援施策を計画に盛り込んだが、検討期間が短く、内容については計画期間中にさらに充実をしていくこととしているため、今後も協議いただきたい。臨時委員は本日で終了となるが、来年度以降の点検評価をどうするか、市と検討し状況によっては御尽力をお願いする場合がある。計画の中身がだんだん大きくなっているため、今後もよろしくお願ひしたい。

それでは本日はこれで終了とします。ありがとうございました。